

取扱説明書

- 安全に関する説明
 - 警告！ ランプ内圧が高圧であるため、熱い、あるいは、冷めた、いずれの状態でも破裂の危険性があります。点灯中は、眼や肌に対して有害な強力な紫外光を放射します。アークの強い輝度を直視すると網膜に重大な損傷を与えることがあります。
 - XBOランプを扱う際は、付属の保護カバーをいつも使用してください。
 - 保護カバーなしにランプを梱包する際、あるいはランプ取り付け、取り外しを行なう際は、必ず防護服（首を防護する顔面マスクと手首を防護する革の手袋）を着用してください。
 - ランプは直視を防止し破裂の際の破片を留めおく特別に設計されたランプハウス内でのみ点灯できます。
 - ランプ廃棄方法の説明はパラグラフ5を参照してください。
- ランプの取り付け
 - ランプハウスを開ける前にメインのコネクタを交流電源から外してください。
 - 安全に関する説明を読んでください。
 - ランプは保護カバーをつけたままプロジェクター内へ取り付けてください。
 - ある種のランプ機種ではケーブルが外れた状態で梱包されています。必要ならば、ランプロ金のネジ込みソケットへネジ留めます。良好な導通を保つためにケーブルが確実に取り付けられているか確認してください。ケーブルを取り付ける際は、力がランプにかからないようにしてください。
 - 電気的な接続のコンタクト面は、良好な導通を保つため、異物、腐食、焦げあとが無いようにしてください。特にランプを固定した後に、取付金具とケーブルがしっかりと固定されているか定期的に確認してください。
 - ランプの支持具は取付中のみならず点灯中も（熱膨張による）いかなる機械的なストレスもランプへかからないようにしてください。ランプ全長250mmまでのランプは陰極側に片側支持のみが必要とされます。250mmを超えるランプはランプの縦軸方向の膨張を許容する、陽極側への追加の機械的な支持が必要とされます。
 - ランプ取付後、ランプは装置製造業者の推奨に従い、光学系での調整を行なわなければなりません。
- 点灯
 - XBOランプは直流点灯で設計されています。正しい極性を確認してください。
 - 直流電流は、電流制御範囲の制限内でのみ変動できます。（ランプ技術データシートをご覧ください。）XBOランプは定格電流で最良に動作します。ランプ寿命に渡り、光量減少を補うため、電流は最大値まで増大するかもしれません。ランプを最小電流で点灯させることでランプ出力は減少できますが、ランプの寿命を延長することとはなりません。
 - 全てのXBOランプは大きい陽極（+電極）を上側に、陰極（-電極）を下側にした垂直点灯位置が適しています。機種の記号表示にHを含むランプは、水平点灯位置も適しています。（ランプ技術データシートをご覧ください。）ある種のHタイプのランプは、水平点灯において磁気的なアーク安定化が必要となります。（ランプ技術データシートをご覧ください。）
 - 機種により、XBOランプは、対流冷却（バルブ中央部での風速3m/s）、ファン冷却（風速5から10m/s）が必要となります。ファン冷却はランプ消灯後、最低5分間は必要となります。
 - 最大許容口金温度は230℃です。口金表面の変色は不適切な冷却を示しています。
 - 安全上の理由から、平均ランプ寿命の終わりに到達したら、ランプは交換されるべきです。平均ランプ寿命の1.25倍を越えてはいけません。この後では、ランプ破裂の危険性が高まります。
 - XBOランプ点灯の電気的、機械的な要求事項に関する詳細な情報は、ランプ技術データシート、小冊子“XBO - theatre lamps - Technology and Application”と“Guidelines for Power Supplies and Igniters”をご覧ください。
- ランプの取り外し
 - ランプを消灯し、装置製造業者の推奨に従って、ランプハウスを閉じた状態でランプを冷却します。
 - ランプハウスを開ける前に交流電源からの接続を切ります。
 - パラグラフ1にある安全に関する説明に従ってください。
 - 保護カバーでランプを覆いランプを取り外します。追加情報はパラグラフ2をご覧ください。
- 廃棄
 - ランプの冷えた状態でのキセノン内圧は約8 barです。ランプは廃棄前にまず圧力を抜かなければなりません。ランプに保護カバーをつけプラスチック袋に入れ、1から1.5mの高さから固い表面（例えばコンクリート）に落とします。
 - 機能上の理由からこれらの種類のランプには、トリウムタングステンとして少量の放射性物質（Th-232 < 1000 Bq ランプ当たり）が意図的に添加されています。IAEA基本安全基準 BSS 115に従って、ランプは消費者製品として規制管理のもと製造されています。例えばIAEA安全性報告などのさまざまな研究に示されているように、大衆への放射線影響（放射線被ばく）はこれらのランプの全ライフサイクルに渡って微々たるもので（< 10 μ Sv年当たり）、自然バックグラウンド放射線（約 500~1500 毎時マイクロシーベルト）をはるかに下回ります。廃棄は、国内規制に準じて行なわれ、例えばヨーロッパにおいてはWEEE規制が適用されます。
- 保証
 - OSRAMの地域会社を介してOSRAM AG Berlin and Munichと合意された供給と支払い条件が適用されます。保証をもとになされた払い戻し価格はランプに損傷が発生する前までに既に点灯されていた時間数に依存します。
 - 保証のもとでの要求は、不良のXBOランプが、記入された保証カードとともに完全な本来のパッケージをされた状態で（輸送による更なる破損を防止するため）関係の供給者に返却されたときのみ応じます。
 - 本来のパッケージ中でのランプに輸送中、損傷が生じた場合、貨物の運送業者へ直ちに報告されなければなりません。
 - 保証は以下の場合、適用されません。
 - 本来のパッケージではない状態でXBOランプに生じた輸送中の損傷（例えば積層されたXBOランプへの損傷）。
 - これら取扱説明の無視、指定された点灯条件の不順守、及び外界の悪影響、によるランプに対する損傷。